

週刊センターニュース No.11



第11号(2004年5月24日) 毎週月曜日発行
発行: 金沢大学 大学教育開発・支援センター
URL: http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/daikyou_rche/index.htm

角間ランチョンセミナー企画担当募集のお知らせ

当センター主催の角間ランチョンセミナーでは、学生の要望にもとづき「私の学生時代」と称する、企画を試みることにしました。私の学生時代は、青春はこうだったという話は、学生たちにとっては、学問を大学をより身近に感じるきっかけともなるようです。教職員の方々の奮ってのご応募をお待ちしております。青野(角間 5773 メール aono@sgkit.ge.kanazawa-u.ac.jp)

共同学習会のご案内

- 第18回 日時: 5月24日(月) 5時限目(16:10~17:40)
場所: 角間キャンパス総合教育棟南棟2階 大会議室
題目: 「他大学に学ぶ大学改革: 金沢工業大学、福井大学、京都大学」
進行: 西山宣昭 (大学教育開発・支援センター)
- 第19回 日時: 5月27日(木) 5時限目(16:10~17:40)
場所: 角間キャンパス総合教育棟南棟2階 大会議室
講師: 瀬領 浩一 (共同研究センター)
題目: 「企業にとっての共同研究 - 外部資金獲得の方法 - 」
概要: 企業の立場から共同研究を行う動機について考えます。基本的にはいいものを作れば売れた時代から、売れるものを作る時代になってきたことです。このため、新製品の開発においては、リスク分散の可能な並行開発や、テクノロジーレベルでのマーケティングをおこなわざるを得なくなりました。こうして大企業といえども1つの企業ですべての技術シーズを開発しきれないようになってきました。必然的にアライアンス契約による開発となり、(知的)人材の豊富な大学にも製品開発の重要な役割を担って欲しいとの期待が高まっています。企業の商品開発・製品開発のプロセスの例を取り上げ、その中で大学がどのように期待されるかを皆様と考えて見たいと思います。
- 第20回 日時: 5月31日(月) 5時限目(16:10~17:40)
場所: 角間キャンパス総合教育棟南棟2階 大会議室
題目: 「聴覚障害者に対する大学における支援について
- 第一回 他大学の例を中心に - 」
講師: 青野透 (大学教育開発・支援センター)
- 第21回 日時: 6月3日(木) 5時限目(16:10~17:40)
場所: 角間キャンパス総合教育棟南棟2階 大会議室
題目: 「学生の主体的な学びに向けて 理学部の取組」
講師: 鎌田啓一 (理学部)

大学機関別認証評価について～共同学習会での報告より～

5月13日の第16回共同学習会において、当センターの早田が、去る4月13日に開催された大学評価・学位授与機構主催「大学機関別認証評価に係るシンポジウム」の様態を報告しました。同機構の大学機関別認証評価制度の趣旨説明の後、同制度の特質、特段の留意点として、以下の点に留意することの重要性について指摘しました。

- ・「認証評価」は学校教育法に依拠して行われるもので、国立大学法人法に依拠する「国立大学法人評価」とは別物であること。
- ・大学評価・学位授与機構が行うものも含め、学校教育法に依拠する認証評価は、認証評価機関が定める評価基準によって行われるものであること。
- ・大学評価・学位授与機構による認証評価は、国立大学のみにとどまらず、国・公・私立の全ての大学を対象として行われるものであること。
- ・大学評価・学位授与機構による認証評価は、教育評価中心の評価であること。
- ・上記と関連して、「研究目的の達成状況」については、全ての大学に対してではなく、個別の大学の希望に応じて評価を行うこと。
- ・大学評価・学位授与機構の各評価基準毎に、教育活動等の状況を分析するための「基本的な観点」を設けたこと。
- ・各大学は、大学評価・学位授与機構の認証評価に備え「自己評価」を実施し評価基準の充足状況を検証していく中で、原則として、上記の「基本的な観点」の全てに係る状況を分析・整理しなければならないこと。
- ・各大学は、そうした「基本的な観点」に加え、大学独自の観点を設定する必要があると考える場合、その観点についての状況を分析し、記述することが出来ること。
- ・大学評価・学位授与機構は、各大学の「自己評価」の状況を踏まえ、大学全体として評価基準を満たしているかどうかの判定を行うこと。
- ・それぞれの評価基準を満たしているかどうかの判断は、上記「基本的な観点」の分析の状況及び大学が独自に設定した観点を分析の状況を総合して行うこと。
- ・大学全体として、全ての評価基準を満たしている場合、大学評価・学位授与機構の評価基準を当該大学が充足していると認めこれを公表すること。
- ・その一方で、1つでも満たしていない基準があれば、当該大学全体として評価基準を満たしていないものとし、その旨を公表すること。
- ・評価基準を満たしていないと判断された大学は、評価実施年度の翌々年度までに、当該事項に限定した追評価を受けることができ、そこで基準を満たしていると判断された場合、先の評価と併せて、大学全体として大学評価・学位授与機構の評価基準を満たしているものと認め、その旨公表すること。

大学評価・学位授与機構のこうした認証評価のスキームについては、更なる修正が加えられる可能性があります。大学基準協会も、協会独自の認証評価システムを明らかにしていくことになるでしょう。(文責 早田)

角間ランチョンセミナー開催記録(5月17日～5月21日分)

2004.5.17「EU加盟国としてのポーランド」

イガ・ホドロフスカ、コンラッド・ルジツキ(日本語・日本文化研修生)

2004.5.18「派遣留学を体験して」田中譜美(文学研究科1年) 瀬戸垣裕子(文学部4年)

馳亮太(医学部6年)

2004.5.19「統一性の中に見る多様性と同調性 インドと日本の比較」

プラデュンナ・ヴィリカル(教育学研究科研究生) ヴィバワリ・デシャパンデ(KUSEP生)

2004.5.20「2004年アジアフォーラムについて」川端松晴(金沢学院大学)

2004.5.21「あなたも留学してみませんか？」斉木麻利子(留学生センター) 林明美(国際課)

センター教員活動記録(5月13日～5月21日分)

2004.5.13 依頼講演「今変わりつつある大学教育」主催：石川県各種女性団体連絡協議会 (青野)

2004.5.13 依頼講演「学生支援から始まる教育改革」

東海・北陸・近畿地区学生指導研究会第48回総会 (青野)

2004.5.14 東京大学先端科学技術研究センター・バリアフリープロジェクト福島智助教授の研究室へ障害学生支援の取組について訪問調査 (青野、公費出張)

2004.5.15,16 日本学生相談学会へ参加 会場：立正大学 (青野、公費出張)